

～子どもの学びと育ちを支え、質の高い幼児教育・保育を目指して～



つむぐ

No. 20

令和4年1月11日発行

袋井市幼児教育センター



自分たちの力で解決して 仲良く遊びます

どうしたらいいのか自分たちで考え合います

袋井の幼児教育で
育成する力

生活習慣	自分のことは自分でできる	(1)自立心
		(2)道徳性 規範意識の芽生え
		(3)健康な心と体
		(4)社会生活との関わり
学びに向かう力	みんなと頑張れる	(5)自然との関わり・生命尊重
		(6)言葉による伝え合い
		(7)協同性
思考・表現の基礎となる力	考える・やってみる	(8)思考力の芽生え
		(9)数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚
		(10)豊かな感性と表現

葛藤体験は社会性を学ぶ大切な機会です

子どもは思い通りにいかないとき、怒ったり、どうしたらいいのかわからず悩んだりするなど、様々な感情を表します。

家庭においても同じように思いのぶつかり合いにより、兄弟喧嘩に発展してしまう姿が見られます。

このようなとき、大人は子どもの思いに寄り添い、何が原因だったのかを受け止めるとともに、認めたり励ましたりしながら、自分の気持ちに向き合えるようにかかわることが大切です。

自分たちできまりをつくったり守ったりして遊びを楽しめます

5歳児になると遊びの中での問題に気づき、楽しく遊ぶことができるよう、自分の考えを言葉にしたり友達の考えを聞いたりしながら自分たちの力で解決するようになります。

出来事に対して子ども自身が向き合い、考える経験を重ねていくことで、道徳性や規範意識の芽生えが育まれていきます。



自分の思いを出したり相手の思いに気付いたりして遊ぶ3歳児



遊ぶ中で問題を見つけ、新たなルールをつくり鬼ごっこを楽しむ5歳児

本市では、「袋井市就学前教育・幼小接続カリキュラム」に基づき、10の力を育成する教育を行っています。幼児教育センターだより『つむぐ』では、市内の幼稚園や保育所(園)こども園での実践の様子などを紹介しています。

袋井市教育委員会 幼児教育センター 86-5511 幼児教育センターHP <https://fukuroi-education.edumap.jp>

